



株式会社 ころぎ社

# SE&Lシリーズ 取扱説明書

Marimba&Xylophone User's Manual

対象機種

SE1200

SE700

SE850

SE660R/K

SE800

SE555II

SE750

660R/K



Photo:SE800

Photo:660R

**KOROGI**  
marimbas & xylophones

# 正しく安全にご使用頂くために まずお読みください

for safety .


この度は弊社商品をお買い上げ戴きまして誠に有難うございます。

本商品の特性を正しくご理解の上、末永くご愛用賜りますよう心よりお願い申し上げます。

開梱から組み立て、分解まで当説明書をご参考にして下さい。

尚、ご不明の点につきましてはお気軽にお問い合わせください。

( Tel: 本社 0778-34-2333 or ネオリア 03-5912-5880 )

 株式会社 こおろぎ社



## 安全へのこころがけ

### ① 開梱上のご注意

- 梱包を受け取る時もしくは開く前に梱包が傷んでないかどうかをご確認ください。  
内部に達するような損傷がある場合は配達者・運送会社もしくは弊社まで速やかにご連絡ください。  
念のためその部分の写真を撮って頂くことをお願いします。
- 組み立て、分解には十分なスペースが必要です。 開梱はこおろぎマークが上を向くようにして行います。  
カッター等で浅く開梱部のクラフトテープを切ってください。  
ダンボールの端で手を切ることがありますのでご注意ください。  
梱包のまま全てのパーツを箱から取り出してください。  
梱包の一部を開いてパーツ(P3/一覧)が揃っていることをご確認ください。 以下各ページの説明文をお読み下さい。

### ② 管理上のご注意

- 段差のあるところや階段の近くには出来るだけ置かないで下さい。 設置後は必ずキャスターロックをしてください。
- 移動する場合、同じフロア上でもゆっくり動かすことが基本です。  
段差やスロープがある場合は必ず複数の人で動かしてください。  
共鳴管等が床や段差にぶつかると、キャスターや本体に予想外の力が加わり、転倒や破損の原因になります。  
また、床と共鳴管の隙間に足を挟まないよう十分ご注意ください。
- 本体に乗らないこと。  
音板の上に物を載せないこと(桁下がりの原因になります)。
- 火気・熱風に近づけるのは危険です。
- 音板が濡れた時には速やかに拭き取り、乾かして下さい(音程の悪化防止)。
- 音板に直射日光を当てないで下さい(ひび割れ防止)。
- 湿度は40～55%の範囲内で管理して頂くのが理想です。  
湿度の高いところには長時間置かない様にして下さい。  
音板は温度の変化には順応しますが、良く響くのは、おおよそ15℃～28℃の範囲です。
- 木の音板は1～2年かけて育てる(硬化・純化)のが最良です。  
その間は表面を傷つけない様、適度な硬さのマレットで、満遍なく叩くことが望まれます。
- マレットは予想以上に、打撃が強く危険です。撥以外の用途には絶対に使用しないで下さい。



## メンテナンス

- 弊社商品は無期限の修理を保障いたします(有償)。
- 木の音板の場合、マリンバではご購入後2～3年経ったら、シロホンでは表面が傷んできたら再調律をお考え下さい。



# パーツ一覧

Parts list



組み立ての際は十分なスペースを確保してください。  
また以下の作業は2人で行うことをお勧めします。

最初にすべてのパーツが揃っている事をお確かめ下さい。

## 共鳴管

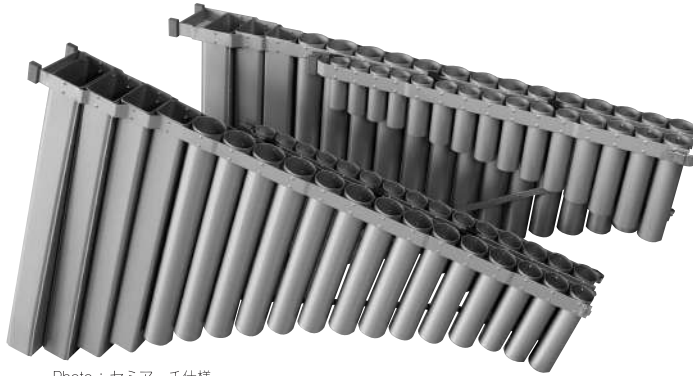


Photo : セミアーチ仕様

SE1200

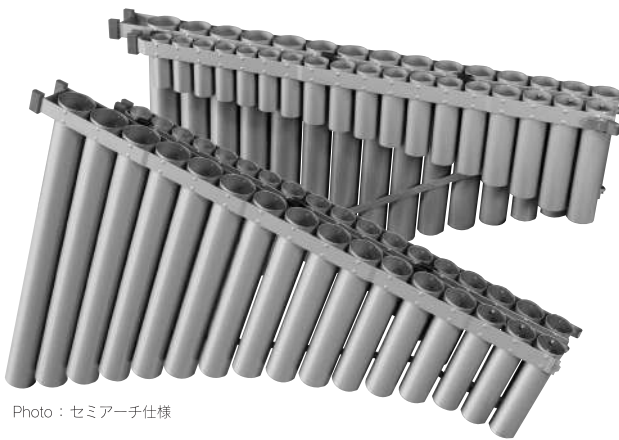


Photo : セミアーチ仕様

SE850 SE800 SE750  
SE700 SE660R/K  
660R/K

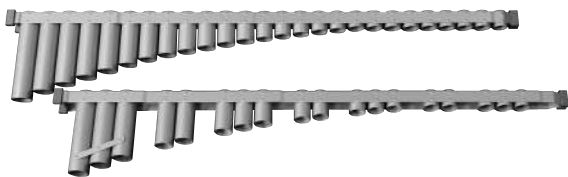


Photo : スタンダード仕様

SE555-II

## 音板2連(幹音・半音)

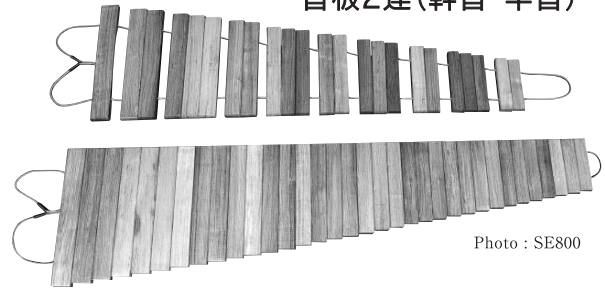
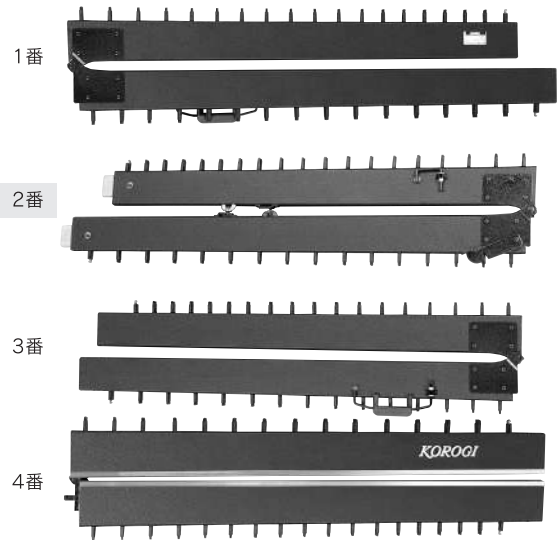


Photo : SE800

## 桁/1~4番



## 側板(フレーム)1対



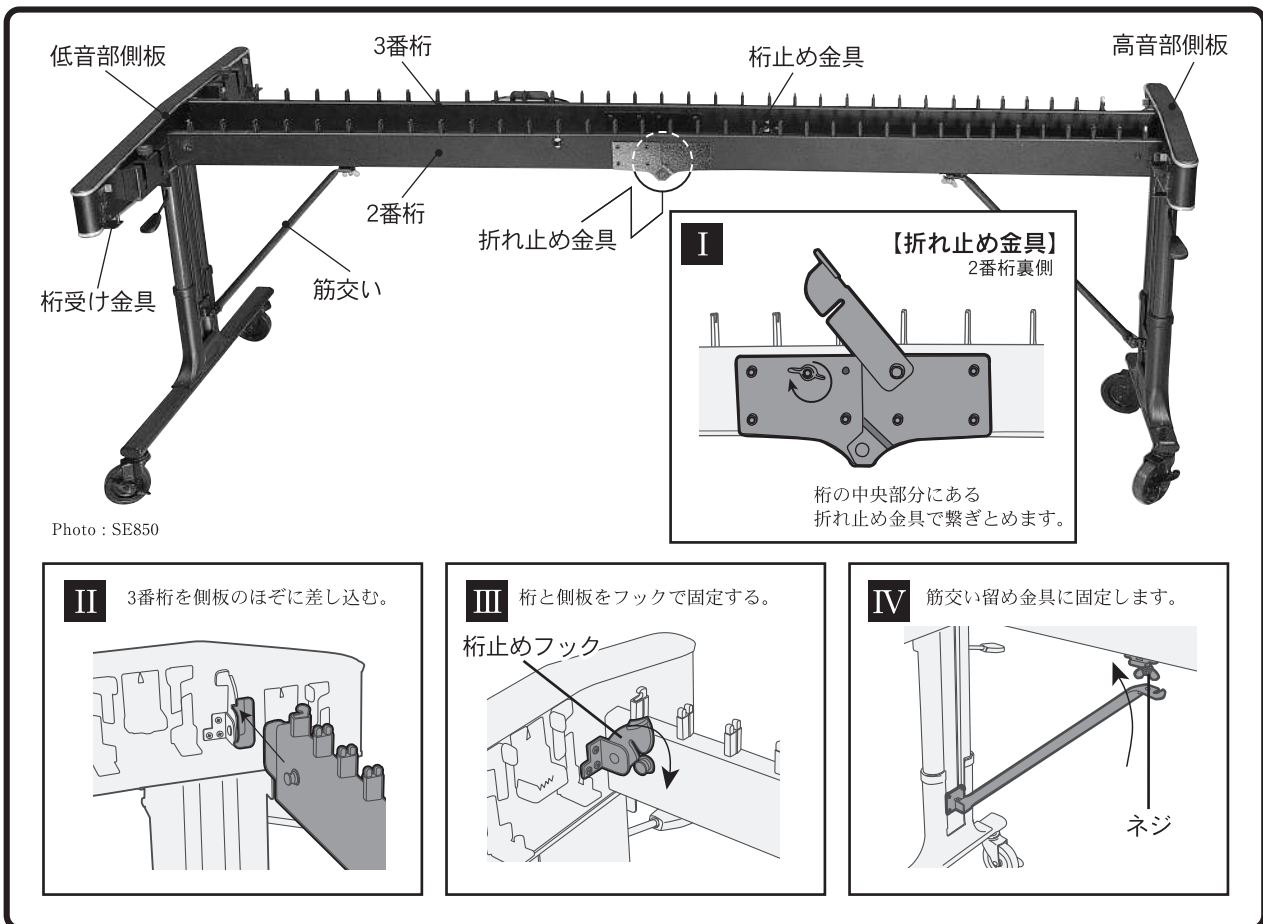
低音部

高音部

※付属品・・・マレット・取扱説明書(保証書)

# 1 2番桁と3番桁を組み立てます。

## 1 2番桁で両方の側板をつなぎ3番桁をセットします。

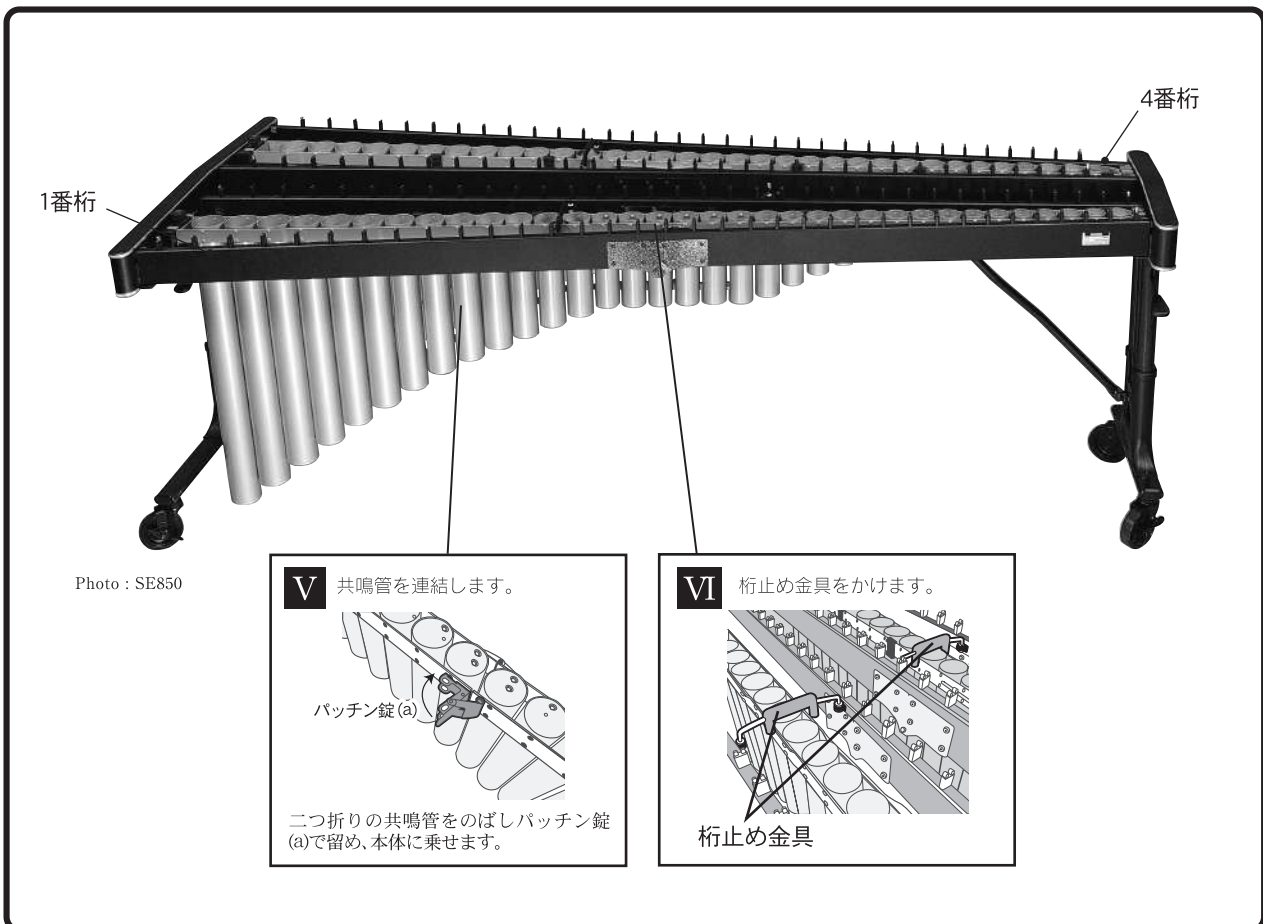


- ホゾ(段)付の2番桁を伸ばし、蝶番についている折れ止め金具を固定します。(図I参照)
- 側版の内側を手前にして壁などに寄りかけて保持しながら、2番桁のホゾをやや上下させながらはめ込みます。(図II参照)
- ホゾが十分入ったら桁止めフック(図III参照)を桁についているピンを挟み込むように思い切り倒します。
- 次に筋交い留め金具(図IV参照)のネジを緩めて筋交いをはめ込み、再度締め付けます。同じ操作を高音側の側板にも行い両方の側板を連結します。
- 3番桁をはめ込み、桁止め金具をセットします。

## 2 共鳴管と1・4番桁を装着します。

## Assembly Method of Marimba&Xylophone

2 次に共鳴管を伸ばしてセットし、1・4番桁を<sup>は</sup>嵌め込みます。

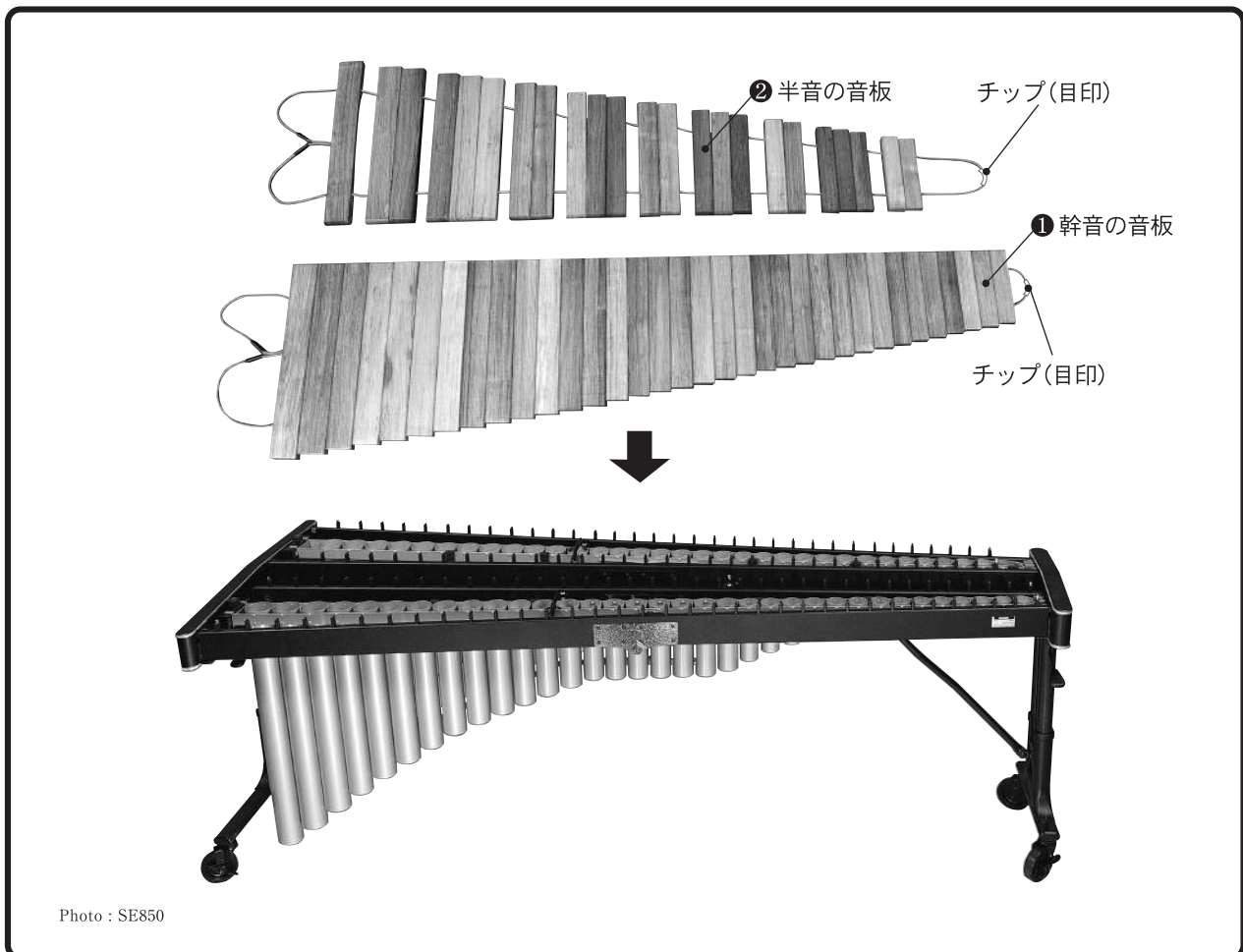


- 共鳴管を伸ばしパッチン錠でつなぎます。(図V参照) (最初は全体に硬い感じですが問題ありません。)
- 共鳴管をセットします。  
共鳴管はグレー色のプロテクターがボックス上部より少し(1~2mm)出る位の高さを標準とし、かなり温度が低ければ下げ、高ければ上げて良い音の出る位置を探してください。
- 1・4番桁を伸ばし桁受け金具にはめ込みます。  
いずれの操作も高音部を先にあげがう様にします。
- 桁止め金具をセットします。(図VI参照)

### 3 音板をセットして完成です。

## Assembly Method of Marimba&Xylophone

### 3 音板をセットします。



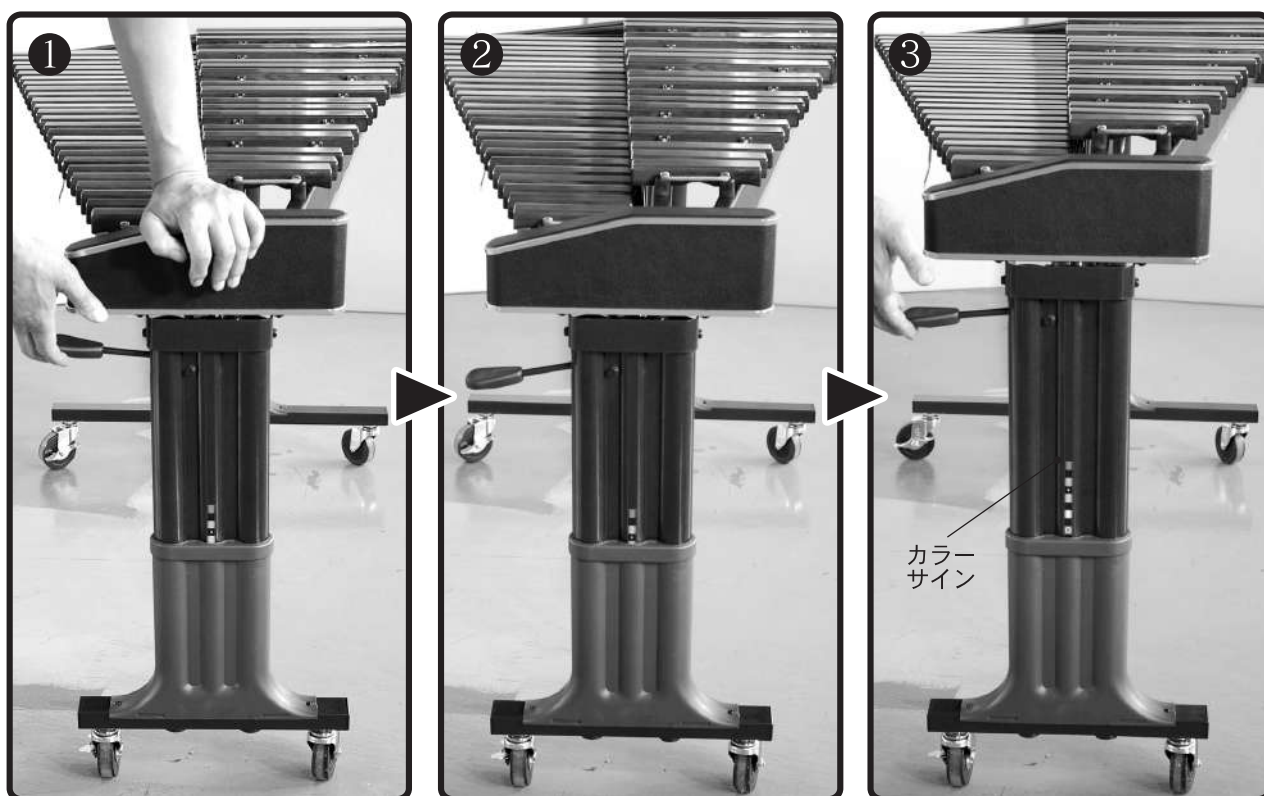
- 幹音部の音板を先に載せます。
- 音板はやや高音部寄りに載せ、まず高音部の端ピンに紐を懸けます。順次低音部から音板を並べていきます。この時、紐の最高音折り返し部分にあるチップ(目印)を端ピン間の中心に来るようにセットしておきます。
- 並べ終わったら紐の両端を持って強く均等に引っ張りバネを引っ掛けます。バネに軽くテンションが掛かるくらいの紐の長さが理想です。ゆるい場合はバネの中の結び目の位置を変えて下さい。
- 上記と同じ要領で半音の音板を載せます。
- 音板をセットし終えたら試奏して問題がないかどうかご確認下さい。



## 4 脚の高さ調整をします。

Assembly Method  
of Marimba&Xylophone

### 4 高さを調整します。



- レバーを軽く持ち上げながら、本体を強く押し下げます。
- 一旦手を離します。
- レバーを軽くタッチする感じで持ち上げれば、「スーツ」と本体が持ち上がりますので横のカラーサインを見ながら高低音ともご希望の高さに合わせてください。
- 押し下げる方向に50kg以上の力をかけないで下さい。  
スプリングガスが抜けてしまうことがあります。  
万一抜けた場合は、分解して取り替えて頂く事となります。

## 関連商品

価格は、予告なしに変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

### ■キャリングバッグ

Bag

	国産品(在庫)	予定価格	国産特注品
3000C(2400C)クラス	286,650円	147,000円	
3000Aクラス			都度見積
1500(1200)クラス		115,500円	都度見積
850~700共通		105,000円	

(税込)



Photo : 3000用キャリングバッグ

### ■マレット(コンサートマリンバ用) ※その他多種取り揃えております。

Mallets

#### こおろぎ

※各種とも番号の小さいものが硬いマレットです。

- 500シリーズ 毛巻カラーヘッド仕様(2本組)
  - SP551(パーチ)・SP551R(ラタン) ¥5,355(税込)
  - }
  - SP557(パーチ)・SP557R(ラタン) ¥6,090(税込)
- 600シリーズ 毛巻ホワイトヘッド仕様(2本組)
  - SP661(パーチ)・SP661R(ラタン) ¥5,565(税込)
  - }
  - SP670(パーチ)・SP670R(ラタン) ¥6,300(税込)
- 700シリーズ 布谷モデル(2本組)
  - FN-701(パーチ)・FN-701R(ラタン) ¥5,775(税込)
  - }
  - FN-711(パーチ)・FN-711R(ラタン) ¥6,457(税込)

#### イナーキー・セバスチャン

※各種とも番号の小さいものが軟らかいマレットです。

- ウォーム・アタックシリーズ(2本組)
  - MCS0~MCS5 ラタン(R) ¥7,560(税込)
  - パーチ(R) ¥7,140(税込)
- クリア・アタックシリーズ(2本組)
  - MCS6~MCS11 ラタン(R) ¥7,560(税込)
  - パーチ(R) ¥7,140(税込)

### ■トップカバー

Top cover

トップカバーは全機種取り揃えております。  
UX555C(¥6,000) ~ 800(¥8,000) ~ 3000CF(¥12,000)

### ■替え紐・バネ

Cord & Spring

紐は、年数につれて次第に細く堅くなっていきます。  
大型マリンバの場合、次第にノイズが出やすくなりますので3年くらいで交換されることを  
お勧めします。バネも少し伸びてきたら交換時期です。

- 紐の価格 ¥200/m
- マリンバ用テーパーバネ ¥800/2個
- 両掛け並行バネ(教育用) ¥400/2個

### 音板の交換について…

Maintenance

現行品であれば交換用の音板は全機種在庫しており、ご注文後3、4営業日での出荷が可能です。また、古い商品への対応も行っています。  
特に急ぎの場合は別途お問い合わせ下さい。音板が割れたり劣化した場合は交換ということになりますが、なかには修理によって短期間のご使用が可能な場合もあります。緊急時の対処法も含めてお気軽にご相談下さい(Tel:0778-34-2333)。  
なお、木音板が硬化するまでの最初の1~2年は、出来るだけ音板を傷めないよう、マレット選びや奏法へのご配慮をお願いいたします。

### ■調律料(技術料のみ・税込)

3000・2400(¥30,450) ~ 120(¥10,500)  
送料・取扱い料は別途請求となります。

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください/ [www.korogi.co.jp](http://www.korogi.co.jp)

真心こめて価値ある商品をお届けします。

**KOROGI**  
marimbas & xylophones

株式会社 こおろぎ社

〒916-0144  
福井県丹生郡越前町佐々生内袋38  
TEL.(0778)34-2333 FAX.(0778)34-2687  
Mail. front@korogi.co.jp  
[www.korogi.co.jp](http://www.korogi.co.jp)



ネオリア こおろぎ

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北5-7-20  
TEL.03(5912)5880 FAX.03(5912)6770  
Mail. neoria@korogi.co.jp  
営業時間 AM10:00~PM6:00(延長はPM8:00まで)